
0052. 積荷目録情報登録省略機能 不要設定登録

業務コード	業務名
U A F	積荷目録情報登録省略機能不要設定登録

1. 業務概要

船会社コード等の単位に、「積荷目録提出（DMF）」業務における出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録機能の不要設定の登録および削除を行う。

設定可能単位のパターンは、以下の3パターンのうちいずれか1つとする。

- ①船会社単位（船会社コード）
- ②船卸港単位（船会社コード+船卸港コード）
- ③船舶単位（船会社コード+船卸港コード+船舶コード）

2. 入力者

船会社、船舶代理店

3. 制限事項

- ① 1 船会社コードに設定可能な船卸港コードは、最大200件とする。
- ② 1 船卸港コードに設定可能な船舶コードは、最大100件とする。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が船会社の場合は、入力者に対する船会社コードと入力された船会社コードが同一であること。
- ③入力者が船舶代理店の場合は、入力された船会社コードおよび船卸港に対し、当該船会社との受委託関係がシステムに登録されていること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）都市DBチェック

登録の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された船卸港コードが都市DBに存在すること。
- ②入力された船卸港コードが国内の港であること。

（4）船舶DBチェック

登録の場合は、入力された船舶コードに対する「船舶基本情報登録（VBX）」業務または「船舶基本情報等事前登録（WBX）」業務が行われていること。

（5）積荷目録情報登録省略機能不要DBチェック

（A）登録の場合

- ①入力された船会社コード、船卸港コードおよび船舶コードに対する積荷目録情報登録省略機能不要DBが存在しないこと。
- ②船会社コードのみが入力されている場合は、同一の船会社コードに対する船卸港単位、および船舶単位の登録が積荷目録情報登録省略機能不要DBに存在しないこと。
- ③船会社コードおよび船卸港コードが入力されている場合は、同一の船会社コードに対する船会社単位の登録、および同一の船会社コード+船卸港コードに対する船舶単位の登録が積荷目録情報登録省略機能不要DBに存在しないこと。

④船会社コード、船卸港コードおよび船舶コードが入力されている場合は、同一の船会社コードに対する船会社単位の登録、および同一の船会社コード+船卸港コードに対する船卸港単位の登録が積荷目録情報登録省略機能不要DBに存在しないこと。

(B) 削除の場合

入力された船会社コード、船卸港コードおよび船舶コードに対する積荷目録情報登録省略機能不要DBが存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 積荷目録情報登録省略機能不要DB処理

(A) 登録の場合

入力された船会社コード、船卸港コード、船舶コードを登録する。

(B) 削除の場合

入力された船会社コード、船卸港コード、船舶コードを削除する。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者

7. 特記事項

- (1) CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。(規制時間帯は別途定めることとする)
- (2) 設定可能単位のパターンおよび登録時のチェック例については以下のとおり。

(A) 設定可能単位のパターン

項番	設定単位	例	不要設定の範囲
1	船会社コード	A A A A	船会社「A A A A」にかかる情報に対し不要と設定する。
2	船会社コード + 船卸港コード	A A A A + J P T Y O	船会社「A A A A」の東京港にかかる情報に対し不要と設定する。
3	船会社コード + 船卸港コード + 船舶コード	A A A A + J P T Y O + B B B B B B B B	船会社「A A A A」の東京港に寄港する船舶「B B B B B B B B」にかかる情報に対し不要と設定する。

(B) 登録時のチェック例

項番	DB登録状態	入力値	結果
1	A A A A (船会社コードのみ)	A A A A	エラー
2		A A A A + J P T Y O	エラー
3		A A A A + J P T Y O + B B B B B B B B	エラー
4		A A A A + J P Y O K	エラー
5	A A A A + J P T Y O (船会社コード+船卸港コード)	A A A A	エラー
6		A A A A + J P T Y O	エラー
7		A A A A + J P T Y O + B B B B B B B B	エラー
8		A A A A + J P Y O K	正常
9	A A A A + J P T Y O + B B B B B B B B (船会社コード+船卸港コード+船舶コード)	A A A A	エラー
10		A A A A + J P T Y O	エラー
11		A A A A + J P T Y O + C C C C C C C C	正常
12		A A A A + J P Y O K	正常